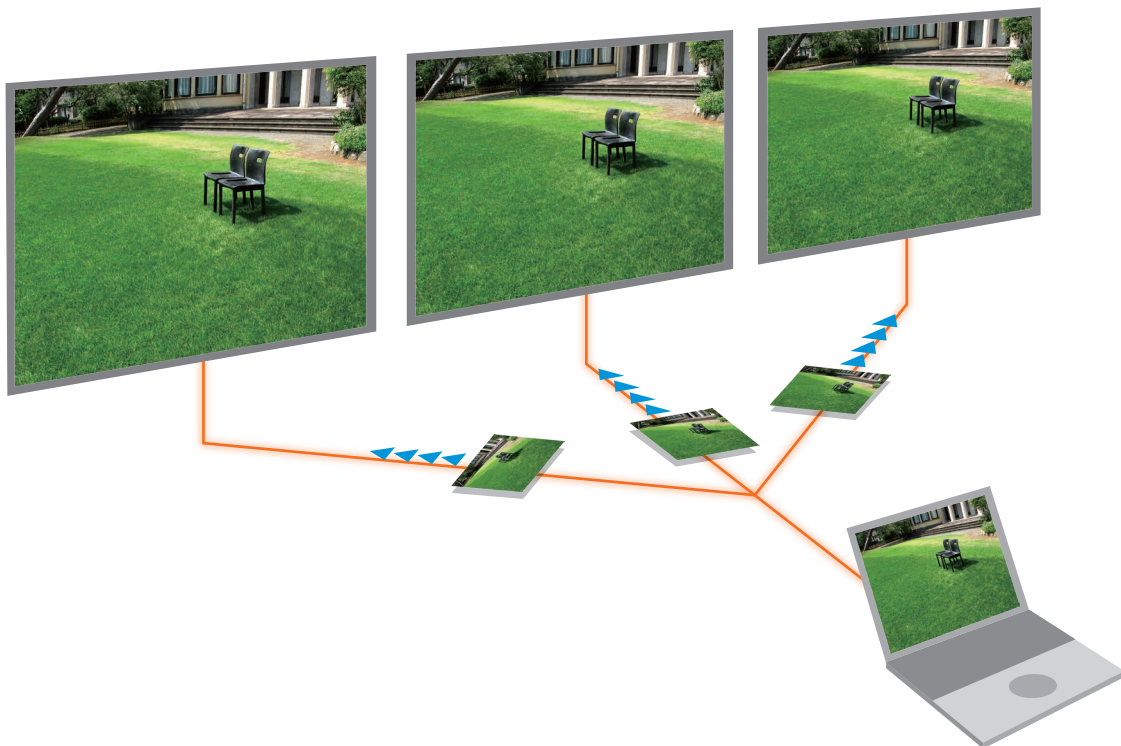


取扱説明書 Screen Transfer 3.0

Windows



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

もくじ

ご使用にあたってのお願いとお知らせ	3
ソフトウェアの使いかた	5
コンピューターの画面を 1 台の機材に表示する	5
コンピューターの画面を複数台の機材に表示する	5
複数の機材をグループとして登録し、接続先を選んで表示する	6
ご使用のコンピューターをご確認ください.....	7
接続に必要なコンピューター環境	7
必要なシステム構成	8
コンピューターのネットワーク設定	9
ソフトウェアをインストール / アンインストールする	10
ソフトウェアをインストールする	10
ソフトウェアをアンインストールする	10
準備する.....	11
機材を確認する	11
ソフトウェアを起動する	12
機材の IP アドレスを指定して表示する	13
1 台の機材に表示する	13
複数台の機材に表示する.....	16
グループと機材を登録する.....	19
<グループ / 機材編集>画面で登録する	19
機材管理データファイルを作って登録する.....	24
登録したグループと機材を選択して表示する.....	28
ランチャーを操作する	31
ランチャー.....	31
音量を調節する	32
音声の入力元を変更する.....	33
機材の配信状態を確認する	33
ソフトウェアを終了する.....	34
詳細設定を行う	35
<設定>画面.....	35
エリアを指定して表示する.....	37
エリア指定送信を終了する.....	38
配信中の映像を確認する	39
レシーバー.....	39
レシーバーを登録する	40
バージョン情報.....	41
表示されるメッセージ	42
困ったとき.....	43

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

■セキュリティに関するお願い

本ソフトウェアをご使用になる場合、以下のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本ソフトウェアを経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本ソフトウェアの不正操作
- 悪意の第三者による本ソフトウェアの妨害や停止

機材本体とお使いのコンピューターに対して、セキュリティー対策を十分に行ってください。

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- ご使用のコンピューターのパスワードを設定し、ログオンできるユーザーを制限してください。

■無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイントとの間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波が届く範囲内であれば障害物（壁など）を越えてあらゆる場所からアクセスできるため、セキュリティー設定に不足があると、以下のような問題が発生するおそれがあります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

● 不正に侵入される

悪意ある第三者により個人や会社内のネットワークへ無断でアクセスされ、次のような不正行為を受ける可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が行われていない場合があります。お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関するすべての設定を、それぞれの無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

無線 LAN で使用する際のセキュリティー設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、「パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター」までお問い合わせください。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

■本書の表記について

- 本書内のイラストや画面は、実際と異なる場合があります。
- 本書およびソフトウェアにおいて、「機材」と表現している箇所はパナソニック製液晶ディスプレイを対象としています。
- 機材によるデータの破損につきまして、パナソニック コネクト株式会社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ご使用条件

本ソフトウェアをご使用するには以下の条件があります。

- コンピューターは必要な環境やシステム構成（7 ページ）を満たし、機材は本ソフトウェアに対応している。
- コンピューターと機材はLANで接続をする。
- 同一のネットワーク内の機材のみに、配信を行う。

■対応する機種

本ソフトウェア「Screen Transfer」に対応している機種は、次のWEBサイトにある本ソフトウェアの説明をご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_software

本ソフトウェアは、プロジェクターには対応しておりません。

お知らせ

- 対応していない機種と接続された場合の動作は保証しておりません。
- 本ソフトウェアを使用するには、対応する機材の「Screen Transfer 機能」を有効にしておく必要があります。詳しくはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアの使いかた

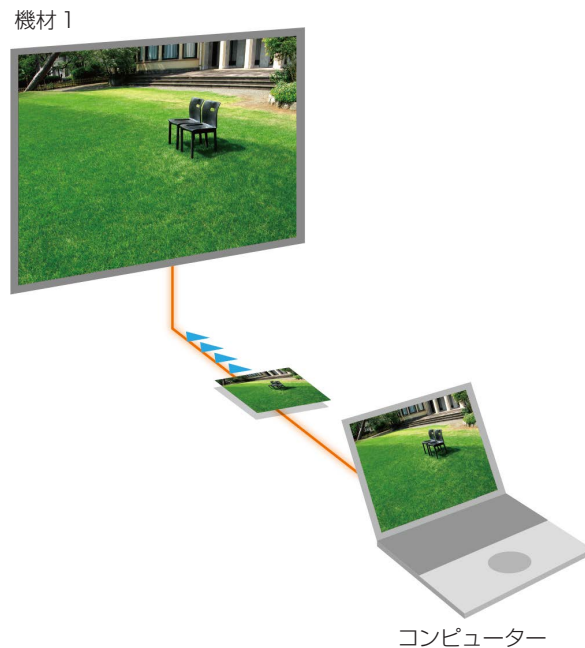
本ソフトウェアを利用すると、コンピュータの画面を、LANで接続された1台または複数台の機材に表示させることができます。会議室や教室などにある複数の機材をグループとして登録して画面を表示させることも可能です。本ソフトウェアには次の特長があります。

- IPアドレスを指定するだけで機材とコンピュータを接続することができます。
- 高解像度の映像を表示することができます。

コンピュータの画面を1台の機材に表示する

13 ページ

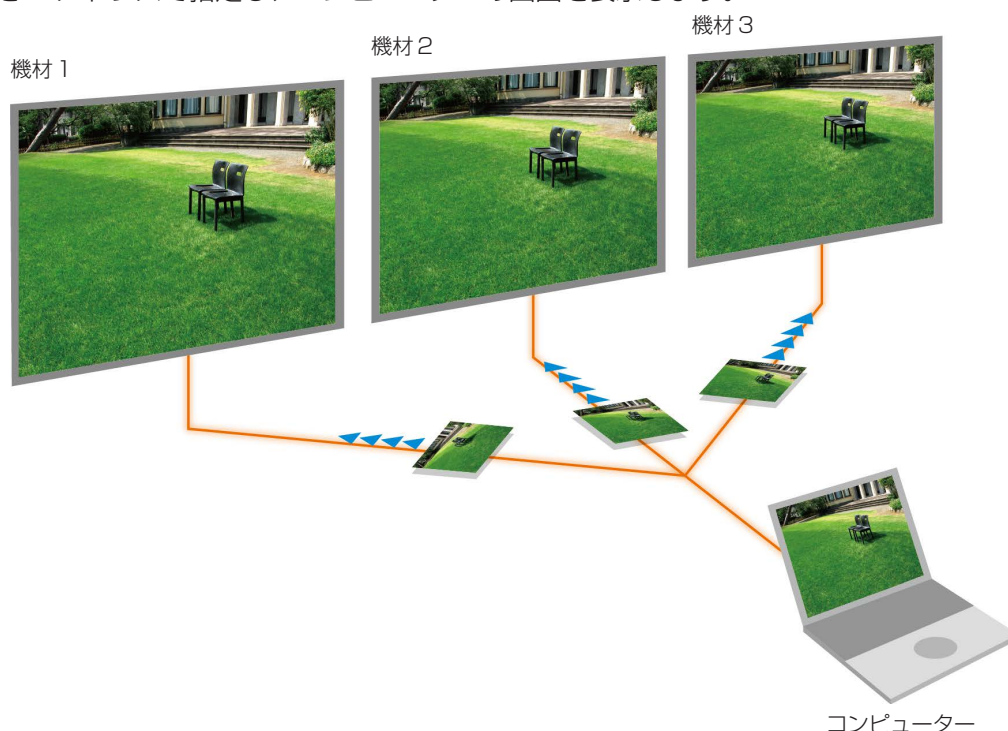
1台の機材をIPアドレスで指定し、コンピュータの画面を表示します。



コンピュータの画面を複数台の機材に表示する

16 ページ

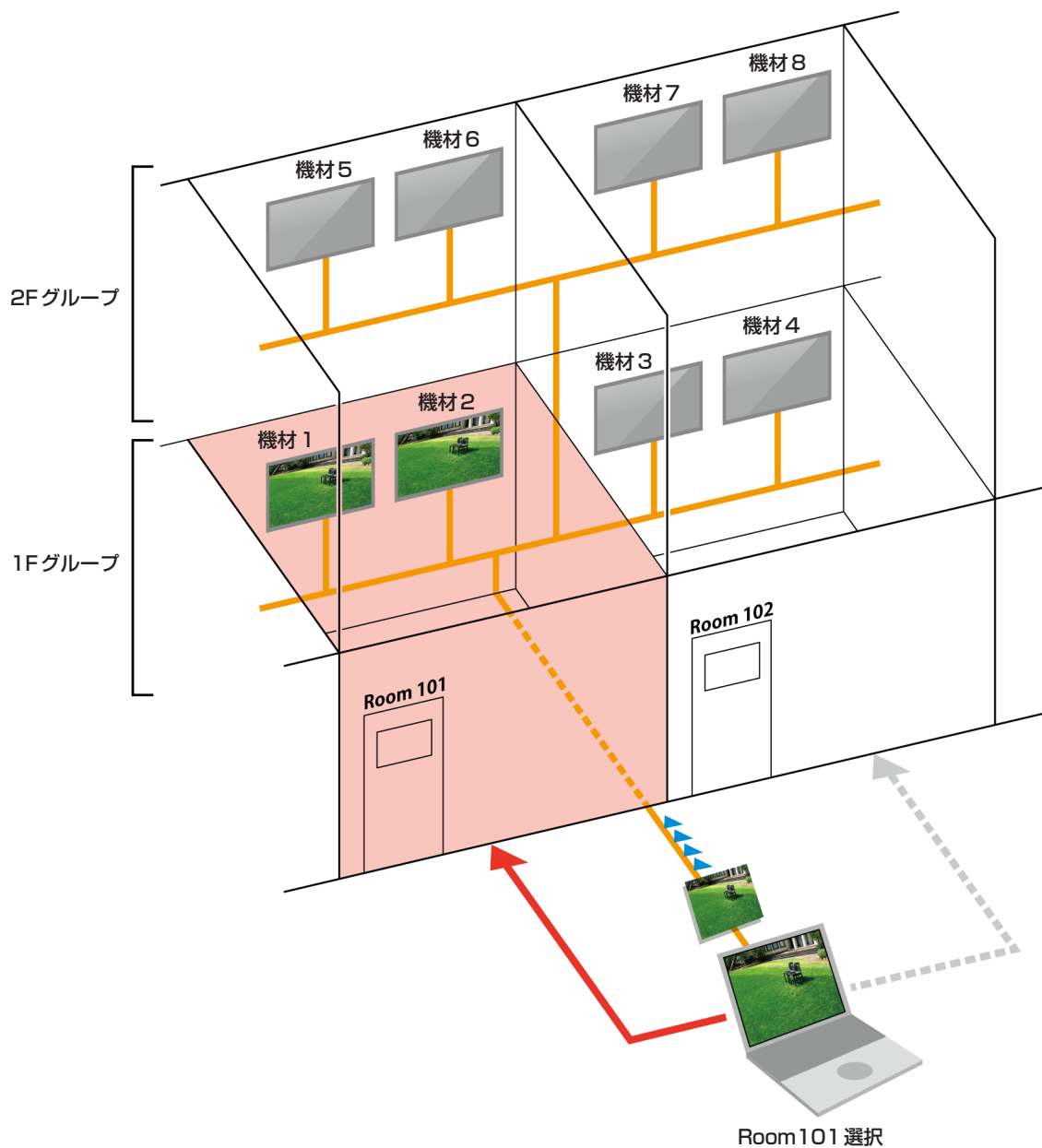
複数台の機材をIPアドレスで指定し、コンピュータの画面を表示します。



複数の機材をグループとして登録し、接続先を選んで表示する

28 ページ

複数の機材をグループとしてあらかじめ登録し、接続したいグループを選んでコンピューターの画面を表示します。グループは階層化することができます。



お知らせ

- この方法をご使用になる場合は、グループと機材を事前に登録してください（19 ページ）。

ご使用のコンピューターをご確認ください

接続に必要なコンピューター環境

- はじめに、お使いのコンピューターに LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。
- 機材とコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

チェック1 LANケーブルについて（有線LANで接続する場合）

- ケーブルが正しく接続されていますか。
- システム構成によりケーブル仕様は異なります。機材の設定とケーブルの仕様をご確認ください。

チェック2 LANアダプターの設定

- LAN アダプターが正しく認識されていますか。
- LAN アダプターが有効になっていますか。
- 事前に LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック3 コンピューターの設定

- ノートパソコンをご使用の場合は、必ず AC アダプターを接続してください。コンピューターの電源設定によっては、パフォーマンスが低下する恐れがあります。
- セキュリティー（ファイアウォール）ソフトの設定を確認してください。インストールされている場合、機材と接続できない場合があります。
- ネットワークブリッジが設定されていないか確認してください。設定されていると、接続できないことがあります。
🔍「困ったとき」（43 ページ）
- ファイアウォール機能によるブロックを、解除または停止しているか確認してください。ファイアウォールに登録していない場合、接続できないことがあります。
🔍「困ったとき」（43 ページ）

必要なシステム構成

本ソフトウェアを使用するには、下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

OS :	Windows 11 Home Windows 11 Pro Windows 10 Home 64bit (バージョン1803以降) Windows 10 Pro 64bit (バージョン1803以降) 上記OSの日本語版、英語版に対応します。 Windows 10 / Windows 11 がプリインストールされたもの以外は保証いたしません。
CPU :	第3世代インテル® Core™ i7/i5/i3以降の統合型グラフィックス機能が搭載されたプロセッサ (推奨: 第7世代インテル® Core™ i7/i5以降の統合型グラフィックス機能が搭載されたプロセッサ)
メモリー :	1024 MB 以上 (推奨: 8GB 以上)
ハードディスク :	100 MB 以上の空き容量 (機材情報を保存するために、別途空き容量が必要です。)
LAN環境 :	有線LANで接続する場合 : LAN 端子 : 100BASE-TX/1000BASE-T 無線LANで接続する場合 : 準拠規格 : IEEE802.11b/g/a/n
デスクトップ領域 :	1024 ドット × 768 ドット 以上 2048 ドット × 1536 ドット 以下

お知らせ

- 上記のシステム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の動作保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- コンピューターのビデオドライバー (グラフィックスドライバー) は、コンピューターのメーカーまたはインテル社から提供されている最新のものをお使いください。
- ご使用の機材が 4K 映像対応のフラットパネルディスプレイの場合、投写映像の解像度は 1920 × 1080 ドットまで対応します。
- 無線 LAN を使用する場合、無線 LAN 配信機能に対応したフラットパネルディスプレイと無線アクセスポイントが必要です。詳しくは、次の WEB サイトにある本ソフトウェアの説明をご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_software

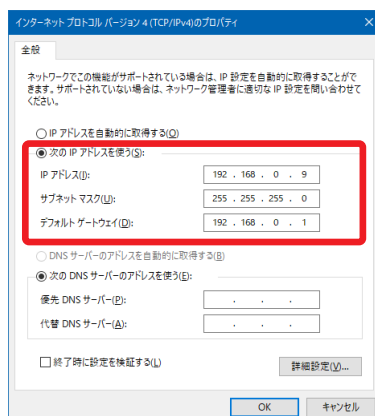
無線アクセスポイントとフラットパネルディスプレイは有線 LAN で接続してください。

上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

コンピューターのネットワーク設定

IPアドレスやサブネットマスクなどのネットワーク設定は、下記の方法で指定できます。設定は、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

- 1 [スタート]をクリック、またはWindowsキーを押してスタートメニューを表示させる
- 2 [設定]をクリックして<Windowsの設定>画面を表示させる
- 3 [ネットワークとインターネット] → [イーサネット]（無線LANを使用する場合は[Wi-Fi]）→ 関連設定の[アダプターのオプションを変更する]を選択して<ネットワーク接続>画面を表示する
- 4 「イーサネット」（無線LANを使用する場合は「Wi-Fi」）を右クリックし、[プロパティ]を選択する
- 5 [ネットワーク]タブをクリックする
- 6 「この接続は次の項目を使用します」の[インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）]を選択し、[プロパティ]をクリックする
- 7 機材の設定に合わせて、コンピューターのネットワークを設定する
[次のIPアドレスを使う]をクリックし、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」のボックスに値を入力します。



それぞれの値は、お使いのネットワーク環境に合わせてください。詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。

ソフトウェアをインストール/アンインストールする

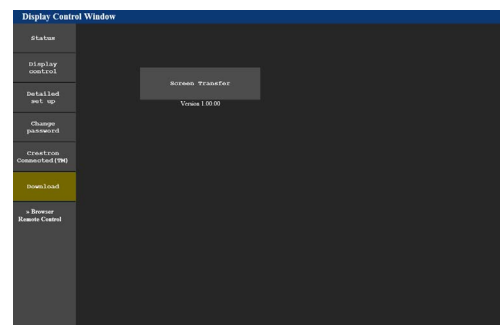
ソフトウェアをインストールする

お知らせ

- インストールは管理者権限を持つアカウントで行ってください。
- 本書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。
- 本ソフトウェアに対応している機種は、次の WEB サイトにある本ソフトウェアの説明をご覧ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_software
- 旧バージョンを使用しているコンピュータでインストールを行うと、＜設定＞画面（35 ページ）などの設定が引き継がれます。

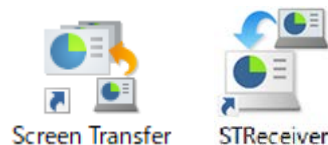
1 機材の WEB ブラウザコントロール画面から本ソフトウェアのインストーラーをダウンロードする

WEB ブラウザーコントロール機能については、
お使いの機材の取扱説明書をご覧ください。



2 インストーラーを起動し、画面の指示にしたがってインストールする

本ソフトウェアとレシーバー「STReceiver」の2つのソフトウェアがインストールされます。
インストールが完了すると、デスクトップ上にそれぞれのショートカットアイコンが作成されます。



3 インストールが完了すると完了画面が表示されますので [完了] ボタンを押してください。

ソフトウェアをアンインストールする

タスクバーの検索ボックスで「アプリと機能」と入力して、表示された「アプリと機能」を選択します。そこで表示された [Screen Transfer] を選択して [アンインストール] をクリックします。

準備する

機材を確認する

機材の電源

機材の電源を入れてください。

お知らせ

- 機材が本ソフトウェアに対応しているか確認してください。本ソフトウェアに対応している機種は、次の WEB サイトにある本ソフトウェアの説明をご覧ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_software
- 機材の「Screen Transfer 機能」が有効になっているか確認してください。詳しくはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

ネットワークステータスの確認

機材のネットワークステータスを表示させ、IP アドレスを確認してください。

IP アドレスの確認方法は、ご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

コンピューターと機材が同一のネットワーク内で接続されているか確認してください。




お知らせ

- 機材の「初期設定」メニューから、[ネットワーク設定] → [ネットワークコントロール] を「オン」に設定してください。

ソフトウェアを起動する

インストールした本ソフトウェアを起動するときは、

デスクトップの  をダブルクリックする

[ スタート] → [ Panasonic] → [ Screen Transfer]を選択することでも本ソフトウェアを起動することができます。

ランチャーとグループ/機材の選択画面が表示されます。機材の選択には次の2種類の方法があります。

- 機材の IP アドレスを指定する
事前に機材を登録していなくても、すぐにコンピューターの画面を表示できます。複数機材の IP アドレスを指定することもできます。次にソフトウェアを起動したときは、再度 IP アドレスを指定する必要があります。
☞「機材の IP アドレスを指定して表示する」(13 ページ)
- 登録済みのグループと機材から選択する
事前にグループと機材を登録しておくと、グループ/機材のリストから選択することができます。同じ機材に繰り返し配信する場合に向いています。
☞「グループと機材を登録する」(19 ページ)
☞「登録したグループと機材を選択して表示する」(28 ページ)



機材のIPアドレスを指定して表示する

事前に機材やグループを登録せずに、機材のIPアドレスを指定してコンピューターの画面を表示させます。機材のIPアドレスを指定して表示するには、1 台の機材に表示する方法と、複数台の機材に表示する方法があります。

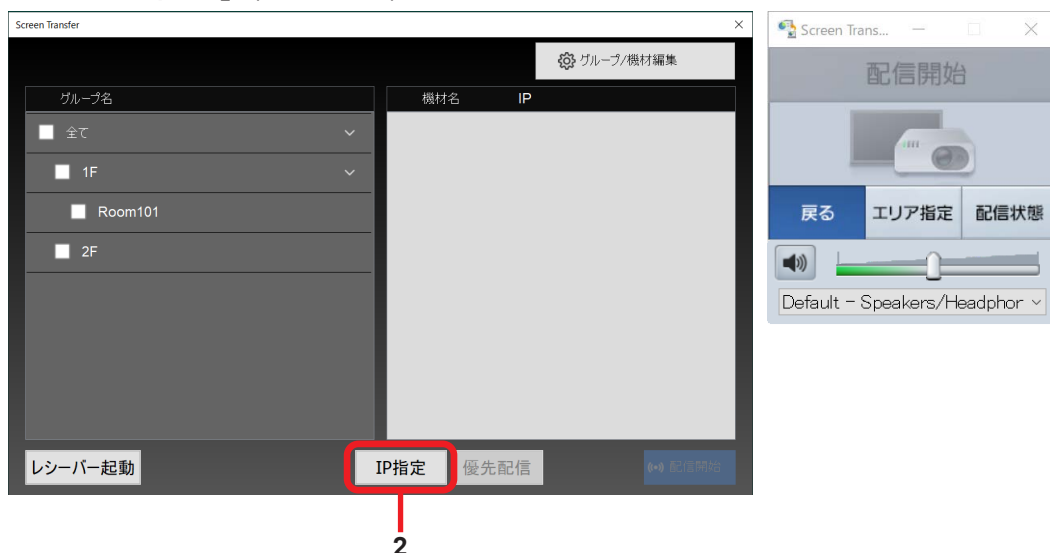
1 台の機材に表示する

お知らせ

- あらかじめ機材の電源をオンにして、入力を「Screen Transfer」に切り換えておく必要があります。
- 表示する機材は IP アドレスで指定します。機材の電源を入れ、あらかじめ IP アドレスを確認しておきます（11 ページ）。
- 機材側の設定で PIN コードをオンにしている場合は、接続時に PIN コードも入力します。PIN コードについてはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

1 本ソフトウェア を起動して、ランチャーとグループ/機材の選択画面を表示させる

🔊 「ソフトウェアを起動する」（12 ページ）



2 グループ/機材の選択画面の [IP 指定] をクリックする

＜検索＞画面が表示されます。[部屋選択]をクリックすると、グループ/機材の選択画面に戻ることができます。



3 [1 台] をクリックし、機材の IP アドレスを入力する

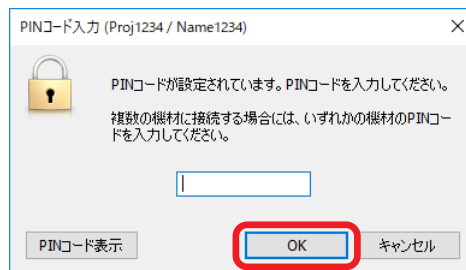
4 をクリックする

機材が見つかったら、画面の下側に機材名が表示されます。



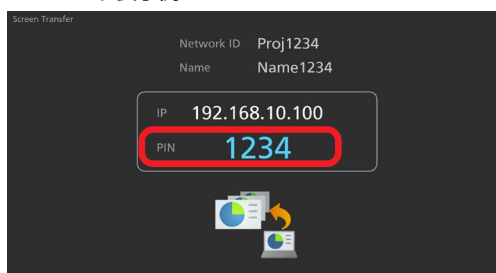
5 [使用する] をクリックする

機材側の設定で PIN コードをオンにしている場合は、＜PIN コード入力＞画面が表示されます。



機材の待ち受け画面に表示された PIN コードを入力して [OK] をクリックしてください。

PIN コード表示例



お知らせ

- コンピューターのディスプレイが 4K 解像度対応の場合は、解像度を 2048 ドット× 1536 ドット以下に変更してからご使用ください。
- 接続に失敗した場合は、約 10 秒ごとに接続のリトライを行います。
- 他のユーザーが画面共有を実施している場合、機材に PIN コードは表示されません。このとき [PIN コード表示] をクリックすると、他のユーザーの共有画面上に PIN コードを表示することができます。
- ＜設定＞画面（35 ページ）で「機材の選択と同時に画面共有を開始する」にチェックを入れると、選択と同時に表示を開始できます。設定が有効なときは [使用する] が [画面を共有する] に変わります。

機材の IP アドレスを指定して表示する

機材が映像を表示できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

🔊 「ランチャー」 (31 ページ)



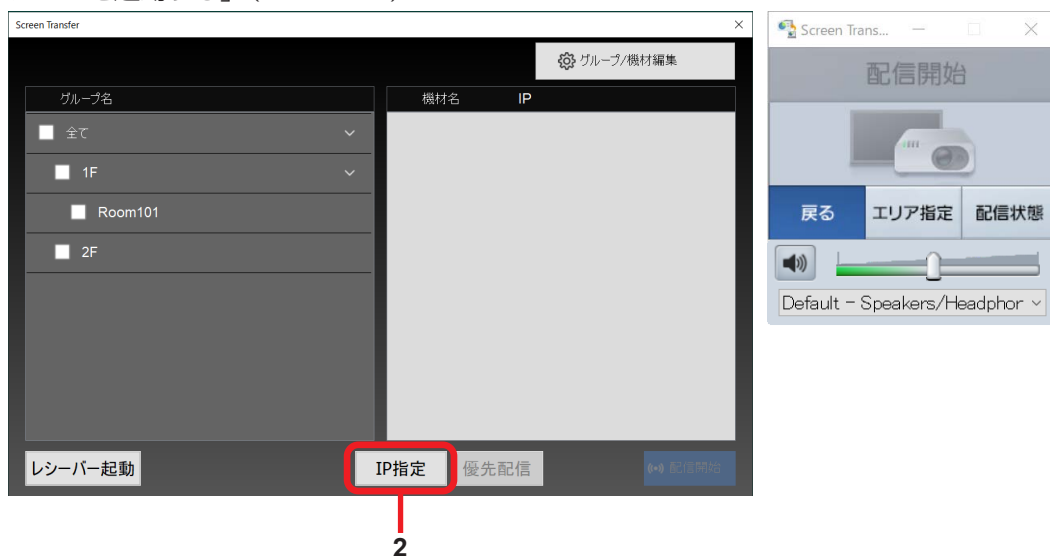
複数台の機材に表示する

お知らせ

- 機材は最大 64 台まで使用できます。
- あらかじめ機材の電源をオンにして、入力を「Screen Transfer」に切り換えておく必要があります。
- 表示する機材は IP アドレスで指定します。機材の電源を入れ、あらかじめ IP アドレスを確認しておきます（11 ページ）。
- 機材側の設定で PIN コードをオンにしている場合は、接続時に PIN コードも入力します。PIN コードについてはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

1 本ソフトウェア を起動して、ランチャーとグループ/機材の選択画面を表示させる

☞ 「ソフトウェアを起動する」（12 ページ）



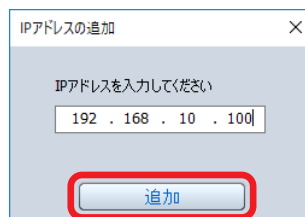
2 グループ/機材の選択画面の [IP 指定] をクリックする

＜検索＞画面が表示されます。[部屋選択] をクリックすると、部屋の選択画面に戻ることができます。



3 [複数台] をクリックする

4 [追加]をクリックし、＜IPアドレスの追加＞画面を表示する



IPアドレスの追加

IPアドレスを入力してください

192 . 168 . 10 . 100

追加

5 検索するIPアドレスを入力し、[追加]をクリックする

同じ手順を繰り返して、表示したいすべての機材のIPアドレスを追加してください。

6 をクリックする

機材が見つかったら、IPアドレスの右に機材名が表示されます。



検索

使用台数 1台 複数台

IPアドレス 追加 削除 

192.168.10.100	Proj1234 / Name1234
192.168.10.101	Proj4321 / Name4321

部屋選択

レシーバー起動

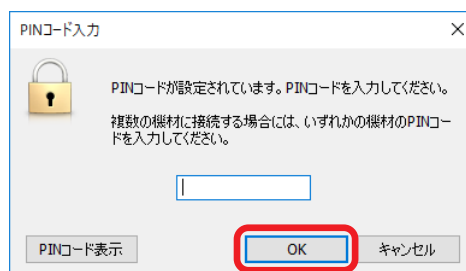
使用する

お知らせ


- 追加した機材を検索対象から削除したい場合は、IPアドレスを選んで[削除]をクリックします。

7 [使用する]をクリックする

機材側の設定でPINコードをオンにしている場合は、＜PINコード入力＞画面が表示されます。この画面は、1台でもPINコードがオンに設定されていると表示されます。複数台の機材にPINコードが表示された場合、いずれか1つを入力すると、すべての機材に接続されます。



PINコード入力

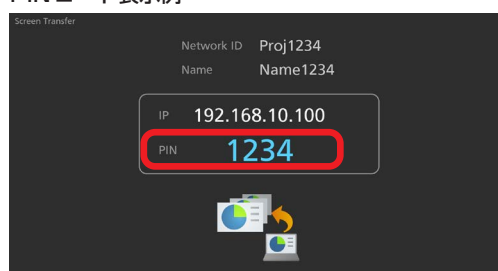
 PINコードが設定されています。PINコードを入力してください。

複数の機材に接続する場合には、いずれかの機材のPINコードを入力してください。

PINコード表示 OK キャンセル

機材に表示されたPINコードを入力して[OK]をクリックしてください。

PINコード表示例



Screen Transfer

Network ID Proj1234

Name Name1234

IP 192.168.10.100

PIN 1234

お知らせ

- コンピューターのディスプレイが 4K 解像度対応の場合は、解像度を 2048 ドット× 1536 ドット以下に変更してからご使用ください。
- 接続に失敗した場合は、約 10 秒ごとに接続のリトライを行います。
- 他のユーザーが画面共有を実施している場合、機材に PIN コードは表示されません。このとき [PIN コード表示] をクリックすると、他のユーザーの共有画面上に PIN コードを表示することができます。
- <設定>画面（35 ページ）で「機材の選択と同時に画面共有を開始する」にチェックを入れると、接続と同時に表示を開始できます。設定が有効なときは [使用する] が [画面を共有する] に変わります。

機材が映像を表示できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

🔊 「ランチャー」（31 ページ）



グループと機材を登録する

複数の部屋などに機材を設置している場合、機材を部屋ごとにグループ分けして登録しておくことでIPアドレスを入力することなくコンピュータと接続できます。

グループは階層化することができます。

IPアドレスを入力して機材と接続して使用する場合（13 ページ）は、ここで説明する設定は必要ありません。


グループと機材を登録するには、本ソフトウェアの＜グループ / 機材編集＞画面で登録する方法と、機材管理データファイルを作成して登録する方法があります。

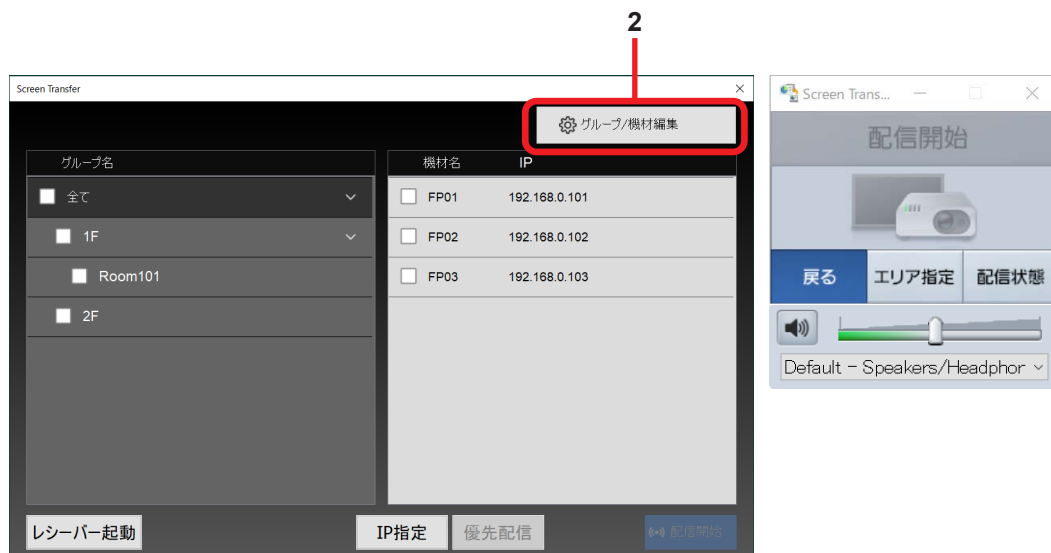
レシーバーを登録する場合も、機材の登録と同様に行います。

＜グループ / 機材編集＞画面で登録する

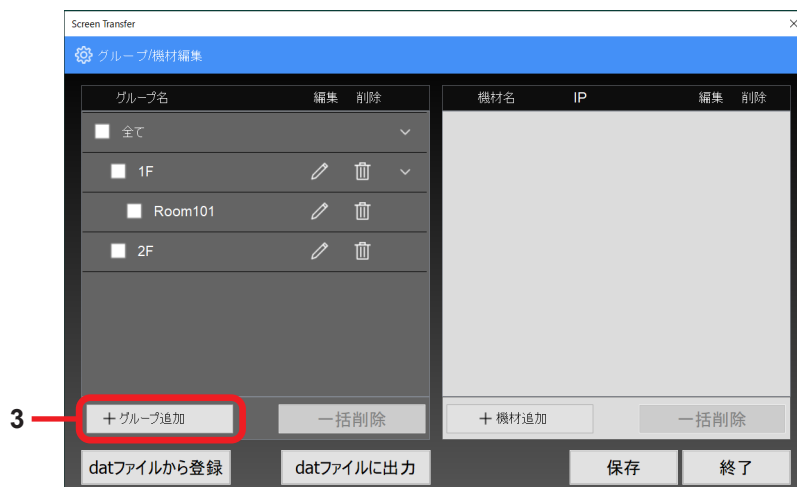
登録の手順

本ソフトウェアの＜グループ / 機材編集＞画面から、グループと機材を登録します。

- 1 本ソフトウェア  を起動して、ランチャーとグループ / 機材の選択画面を表示させる
「ソフトウェアを起動する」（12 ページ）



- 2 [グループ / 機材編集] をクリックし、＜グループ / 機材編集＞画面を表示させる



3 [グループ追加]をクリックする

＜グループ追加＞画面が表示されます。



4 グループを追加する位置を指定し、グループ名を入力する

「全て」を選択すると、「全て」の下にグループが作成されます。

グループの階層関係は、＜グループ/機材編集＞画面でドラッグ&ドロップして変更することもできます。

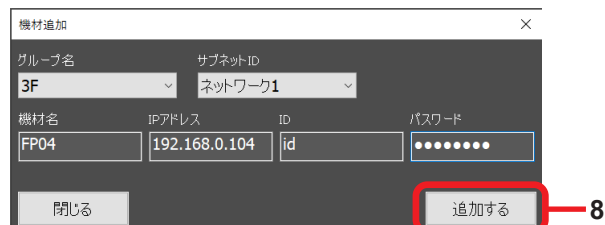
5 [追加する]をクリックする

グループが追加され、＜グループ/機材編集＞画面に表示されます。



6 [機材追加]をクリックする

＜機材追加＞画面が表示されます。



7 機材の情報を設定する

- グループ名：登録する機材が所属するグループ名を選択します。
- サブネットID：登録する機材のサブネットを選択します。
- 機材名：機材の名前を入力します。本ソフトウェア上では、ここで設定した名前で機材が表示されます。
- IPアドレス：機材のIPアドレスを入力します。
- ID：機材のWEB ブラウザーコントロールで使用するユーザー名を入力します。
- パスワード：機材のWEB ブラウザーコントロールで使用するパスワードを入力します。

8 [追加する]をクリックする

機材が追加され、＜グループ/機材編集＞画面に表示されます。

お知らせ

- グループ名には「,」（カンマ）と「/」（スラッシュ）以外の英数字を使用できます。
- グループや機材の名前が長すぎると、部屋を選ぶときに表示が途切れることがあります。それぞれ 10 文字程度に収めることをお勧めします。
- 1 つの機材を複数のグループに登録することができます。
- グループは最大 5 階層まで登録できます。
- 1 つのグループには最大 64 台の機材を登録できます。
- 機材の WEB ブラウザーコントロールで使用するパスワードと、PJLink のパスワードは同じ値に設定してください。
- 機材のユーザー ID およびパスワードを間違えた場合、[優先配信]（29 ページ）が実施できなくなります。

グループと機材の編集

登録済みのグループや機材の情報の編集は、グループ/機材編集画面で行います。

グループ/機材の選択画面で[グループ/機材編集]をクリックし、＜グループ/機材編集＞画面を表示させてください。

■グループ/機材編集画面の画面構成



登録されているグループがグループのリストに表示されます。

＜ をクリックすると選択したグループの下位にあるグループが表示されます。

グループを選択すると、グループに所属する機材が機材のリストに表示されます。

お知らせ

- 「全て」グループは、編集・削除ができません。

■グループ階層を変更する

グループのリストでグループをドラッグ&ドロップすると、階層を変更できます。


機材のリストで機材を選択してグループのリストにドラッグ&ドロップすると、機材が所属するグループを変更できます。

■グループ名を変更する

1 変更したいグループの  をクリックして、＜グループ編集＞画面を表示させる

2 ＜グループ編集＞画面でグループ名を変更して[保存する]をクリックする

■グループを削除する

1 削除したいグループの  をクリックする

2 確認メッセージが表示されたら、[削除する]をクリックする

複数のグループを一括削除したいときは、削除したいグループのチェックボックスを選択して、[一括削除]をクリックします。

お知らせ

- グループを削除するとグループに所属する機材も削除されます。下位グループを持つグループを削除すると、下位グループおよび下位グループに所属する機材も削除されます。

■機材の情報を編集する

1 編集したい機材の  をクリックして、＜機材編集＞画面を表示させる

2 ＜機材編集＞画面で機材の情報を編集する

機材が所属するグループ名、機材名、IPアドレス、ID、パスワードが修正できます。

■機材を削除する

1 削除したい機材の  をクリックする

2 確認メッセージが表示されたら、[削除する]をクリックする

複数の機材を一括削除したいときは、削除したい機材のチェックボックスを選択して、[一括削除]をクリックします。

■機材管理データファイルを読み込む

設定を保存した機材管理データファイル (dat ファイル) を読み込んで、機材やグループを一括して登録することができます。

[dat ファイルから登録] をクリックして、dat ファイルを選択してください。

🔗「機材管理データファイルを作って登録する」(24 ページ)

■ 機材管理データファイルを出力する

登録、編集したグループおよび機材の情報を機材管理データファイルに出力することができます。
[dat ファイルに出力] をクリックして出力先のフォルダを選択してください。

■ グループ / 機材の編集を終了する

[保存] をクリックすると、グループ / 機材の情報を保存して、編集を続けます。
[終了] をクリックすると、＜グループ / 機材編集＞画面を終了します。編集内容が保存されていない場合は、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

機材管理データファイルを作って登録する

登録するグループと機材の情報をファイルに記載することで、グループ/機材を一括して登録することができます。登録にはCSV形式のファイルを使用します。CSVファイルの作成および編集にはテキストエディターなどのアプリケーションをご使用ください。

登録の手順

1 CSV形式のファイルを作成する

「DeviceList.csv」というファイル名のCSVファイルを新規作成します。下記にひな型のCSVファイル「DeviceList.csv」がインストールされています。任意のフォルダにコピーして編集してください。

C:\Program Files (x86)\Panasonic\ScreenTransfer

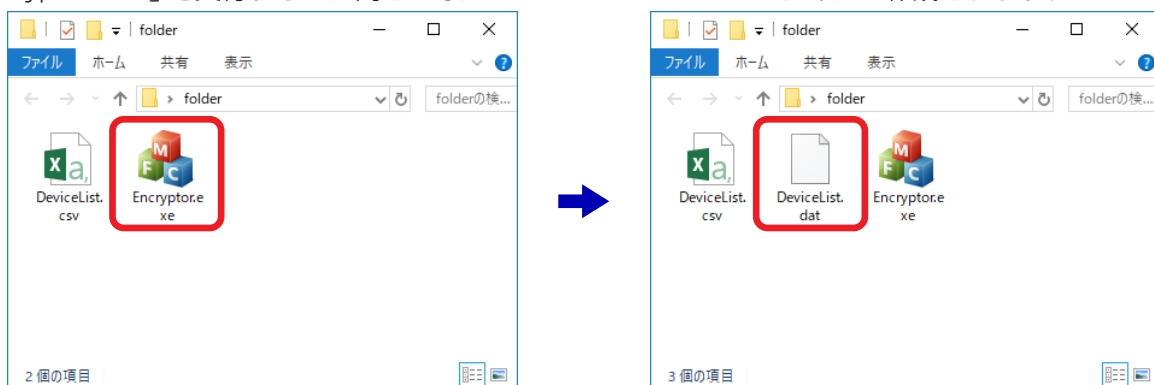
CSVファイルに登録する機材およびグループを記述します。CSVファイルの記述方法については「CSVファイルの記述方法」(25 ページ)を参照してください。

2 CSVファイルを変換する


CSVファイルを機材管理データファイル(.dat 形式)に変換します。作成したCSVファイルと同じフォルダに下記の「Encryptor.exe」をコピーします。

C:\Program Files (x86)\Panasonic\ScreenTransfer\ST\Encryptor.exe

「Encryptor.exe」を実行すると、同じフォルダにDeviceList.dat ファイルが作成されます。



3 本ソフトウェアを起動し、機材管理データファイルを読み込ませる

① デスクトップの  をダブルクリックして、ランチャーとグループ/機材の選択画面を表示させる

☞ 「ソフトウェアを起動する」(12 ページ)

② [グループ/機材編集] をクリックし、<グループ/機材編集>画面を表示させる

③ [datファイルから登録] をクリックする

④ 作成した「DeviceList.dat」ファイルを選択する

機材管理データファイルのグループ/機材の情報が登録されます。

登録後、<グループ/機材編集>画面で登録内容を編集することができます。

☞ 「グループと機材の編集」(21 ページ)

お知らせ

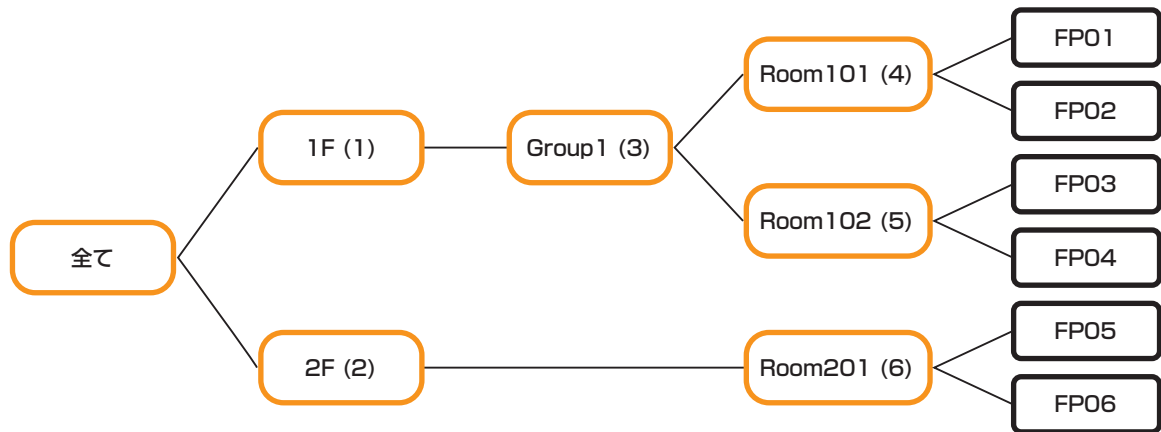
- 登録した部屋や機材が本ソフトウェア上に表示されない場合は、機材管理データファイルの内容に誤りがあります。もう一度内容を確認し、ファイルを作り直してください(25 ページ)。
- 「Encryptor.exe」を実行して失敗した場合、以下の項目を確認してください。
 - ファイル名が「DeviceList.csv」になっているか。
 - CSVファイルが「Encryptor.exe」と同じフォルダにあるか。
 - CSVファイルの記述内容が正しいか。
- 作成するCSVファイルの名称は、必ず「DeviceList.csv」にしてください。ただし、「Encryptor.exe」を実行してできた「DeviceList.dat」の名称は変更してもかまいません。

CSV ファイルの記述方法

登録したいグループ/機材の情報を CSV ファイルに記述します。

記述例

ツリー図のようなグループと機材を登録する CSV ファイルの記述例を示します。



 : グループ

 : 機材

グループ名の後のカッコ内の数字はツリー識別 ID です。ツリー識別 ID は、グループを識別するためにすべてのグループに割り当てるグループに固有な数値です。

```

START,2,0
Room101,FP01,192.168.1.101,id,password,model,0,0,4,1
Room101,FP02,192.168.1.102,id,password,model,0,0,4,2
Room102,FP03,192.168.1.103,id,password,model,1,1,5,1
Room102,FP04,192.168.1.104,id,password,model,1,1,5,2
Room201,FP05,192.168.1.105,id,password,model,2,2,6,1
Room202,FP06,192.168.1.106,id,password,model,2,2,6,2
END

FOLDER_START
1F,1,,1
2F,2,,2
Group1,3,1,1
Room101,4,3,1
Room102,5,3,2
Room201,6,2,1
FOLDER_END
    
```

} 機材の情報

} グループの情報

CSV ファイルの前半に機材の情報を、後半にグループの情報を記述します。

お知らせ

- 各項目はカンマ (,) で区切ってください。

■ 機材の情報

機材の情報は、先頭行に「START,2.0」、最終行に「END」を記述し、その間に定義項目を記述します。

定義項目一覧

Room101,FP01,192.168.1.101,id,password,model,0,0,4,1



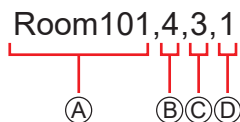
①	グループ名	登録する機材が所属するグループの名称を記述します。グループの情報に記述したグループ名と合わせてください。
②	機材名	機材の名前を記述します。本ソフトウェア上では、ここで設定した名前で機材が表示されます。
③	IPアドレス	機材のIPアドレスを記述します。
④	ユーザー名	機材のWEB ブラウザーコントロールで使用するユーザー名を記述します。
⑤	パスワード	機材のWEB ブラウザーコントロールで使用するパスワードを記述します。
⑥	モデル名	機材のモデル名を記述します。
⑦	グループID	グループ (①) ごとに割り当てる番号です。「0」～「127」の数値を記述します。同じグループの機材には、同じ数値を記述します。グループが異なる機材は、同じ数値に設定しないでください。
⑧	サブネットID	サブネットの識別に使用する番号です。 配信するコンピューターと同じサブネットの機材には、「0」を記述します。 配信するコンピューターと異なるサブネットの機材には、「1」～「127」の数値を記述します。同一のサブネット内では、同じ数値を記述してください。
⑨	機材が所属するグループのツリー識別ID	①のグループに割り当てるツリー識別IDを記述します。
⑩	表示順番号	本ソフトウェアで機材を表示する際の各グループ内での表示順序を指定します。「1」以上の数値を記述します。

③～⑧の各項目は、ご使用になる機材のネットワーク設定と一致させてください。詳しくは機材の取扱説明書をご覧ください。

■ グループの情報

グループの情報は、先頭行に「FOLDER_START」、最終行に「FOLDER_END」を記述し、その間に定義項目を記述します。

定義項目一覧



①	グループ名	この行で定義するグループの名称を記述します。機材の情報に記述したグループ名と同じ名前を記述してください。
②	自身のツリー識別ID	登録するグループ (①) に割り当てるツリー識別IDを記述します。
③	親グループのツリー識別ID	①のグループの1つ上の階層にあたるグループのツリー識別IDを記述します。1つ上の階層が「全て」の場合は、何も記述しません。
④	表示順番号	本ソフトウェアでグループを表示する際の上位グループ内での表示順序を指定します。「1」以上の数値を記述します。

お知らせ

- グループ名には「,」（カンマ）と「/」（スラッシュ）以外の英数字を使用できます。
- グループや機材の名前が長すぎると、部屋を選ぶときに表示が途切れることがあります。それぞれ10文字程度に収めることをお勧めします。
- 1つの機材を複数のグループに登録することができます。
- グループは最大5階層まで登録できます。
- 1つのグループに最大64台まで登録できます。上限を超える台数をCSVファイルに記述した場合、65台目以降の機材は本ソフトウェア上に表示されません。
- 機材のWEBブラウザコントロールで使用するパスワードと、PJLinkのパスワードは同じ値に設定してください。
- 機材のユーザーIDおよびパスワードを間違えた場合、[優先配信]（29ページ）が実施できなくなります。
- 「FOLDER_END」行以降の記述はすべて無視されます。

登録したグループと機材を選択して表示する

事前に登録したグループから機材を選び、コンピューターの画面を表示させます。事前にグループと機材を登録してください(19 ページ)。

お知らせ

- 本機能を使用するには、機材の「初期設定」メニューから、[ネットワーク設定] → [ネットワークコントロール] を「オン」に設定してください。

1 本ソフトウェア を起動して、ランチャーとグループ/機材の選択画面を表示させる

🔊 「ソフトウェアを起動する」(12 ページ)



グループのリスト：登録されたグループが階層的に表示されます。

◀ をクリックすると選択したグループの下位にあるグループが表示されます。

機材のリスト：グループに登録された機材を表示します。

お知らせ

- 機材のリストは最大 64 台まで表示できます。
- [IP 指定] をクリックすると、登録内容にかかわらず、特定の機材のみに表示したり、異なるグループの機材を組み合わせで表示したりできます(30 ページ)。

2 接続したいグループと機材を選ぶ

接続したい機材のチェックボックスを選択して配信する機材を選びます。

グループのチェックボックスを選択すると、グループに所属する機材がすべて選択されます。チェックを外して、グループ内の特定の機材にだけ配信することもできます。

最大64台の機材に配信できます。65台以上選択した場合は、エラーメッセージが表示されます。

3 [配信開始] または [優先配信] をクリックする

[配信開始]

対象の機材との接続を開始します。配信を開始する際に機材登録時に設定したユーザー ID、パスワードによる認証を行います。以下の場合でも接続を開始することができます。

- 機材の電源がオフ（スタンバイ）の状態
- 機材の入力が「Screen Transfer」以外の状態

本ソフトウェアの＜設定＞画面（35 ページ）にある「機材の選択と同時に画面共有を開始する」にチェックを入れている場合は、接続と同時に画面共有が開始されます。

[優先配信]

対象の機材との画面共有を開始します。配信を開始する際に機材登録時に設定したユーザー ID、パスワードによる認証を行います。以下の場合でも画面共有を開始することができます。

- 機材の電源がオフ（スタンバイ）の状態
- 機材の入力が「Screen Transfer」以外の状態
- 他のユーザーが画面共有を実施中、または機材の[割り込み]設定がオフの状態
- 機材の[PINコード]がオンの状態
- 本ソフトウェアの＜設定＞画面（35 ページ）にある「機材の選択と同時に画面共有を開始する」のチェックを外している状態

優先配信を行うと、機材の入力が自動的に「Screen Transfer」へ切り換わります。優先配信を終了（画面共有を停止）すると、入力は自動的に元に戻ります。

お知らせ

- 音声出力が有効な場合、選択したグループのすべての機材から音声出力されます。
- 本機能を使用するには、機材ごとにユーザー ID とパスワードを設定する必要があります。
- 一部の機材に配信できない場合は、配信を続行するかどうかの確認メッセージが表示されます。すべての機材に配信できない場合は、エラーメッセージが表示されます。

機材が映像を表示できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

☞ 「ランチャー」（31 ページ）



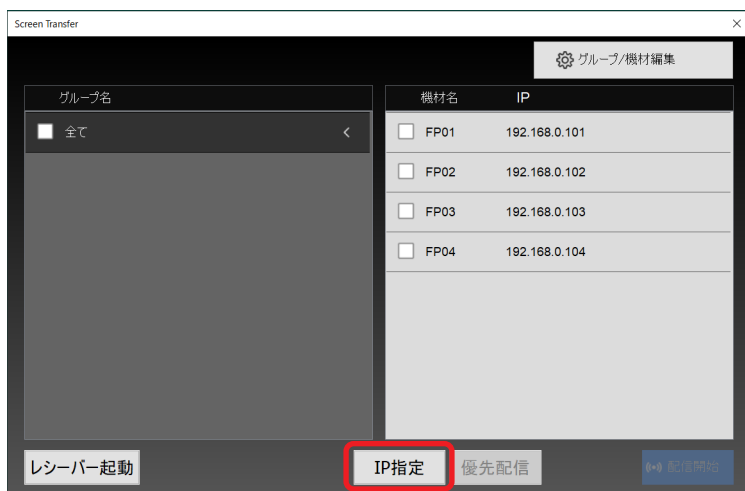
IP アドレスを指定して表示する

グループや機材が登録済みの場合でも、IP アドレスで特定の機材を指定して、コンピューターの画面を表示させることができます。複数台の機材を指定すれば、異なるグループの機材を組み合わせることも可能です。

お知らせ

- 基本操作および制限事項は、グループと機材を登録せずに使用する場合と共通です。「1 台の機材に表示する」（13 ページ）および「複数台の機材に表示する」（16 ページ）も併せてご覧ください。

1 グループ/機材の選択画面を表示する



2

2 [IP 指定] をクリックする

＜検索＞画面が表示されます。[部屋選択] をクリックすると、グループ/機材の選択画面に戻ることができます。



3 [1 台] または [複数台] をクリックし、機材の IP アドレスを入力する

4 検索アイコンをクリックする

機材が見つかったら、画面の下側に機材名が表示されます。

5 [使用する] をクリックする

機材側の設定で PIN コードをオンにしている場合は、接続時に＜PIN コード入力＞画面が表示されます。PIN コードを入力して [OK] をクリックしてください。

ランチャーを操作する

機材の操作（映像の表示の開始や停止）や音量調整などの操作は、ランチャーで行うことができます。
機材と通信しているときは、映像の表示を制御するボタンの操作が有効になります。

ランチャー



① システムメニューを表示します。

📖 35 ページ

② 映像の表示開始と停止を行います。

映像の表示中は[配信停止]に変わります。

③ 機材との通信状態をアイコンで表示します。



映像を表示不可

機材が選択されておらず、通信していない状態です。



映像を表示可能

機材が選択されており、通信している状態です。



映像を表示中

現在、機材から映像を表示しており、通信している状態です。

④ ランチャーの表示を最小にします。

⑤ 本ソフトウェアを終了します。

📖 34 ページ

⑥ <検索> 画面またはグループ / 機材の選択画面を表示します。

機材を選択する画面を表示します。映像を表示する機材を選択したときに使用した画面が表示されます。

⑦ <エリア指定送信>ウィンドウを表示します。

📖 37 ページ

⑧ <機材の配信状態>画面を表示します。

📖 33 ページ


⑨ 音量を調整します。

📖 32 ページ


⑩ 音声の入力元を変更します。

📖 33 ページ

お知らせ

- ランチャーは機材の映像に表示される場合があります。表示させたくない場合は、ランチャーの表示を最小にしてください。
- ランチャーの位置は、マウスでドラッグして自由に変えることができます。
- ランチャーの表示を最小にしてタスクバーに収納したときは、タスクバー内の  をクリックすることで、ランチャーを再度表示させることができます。
- 「機材の選択と同時に画面共有を開始する」（35 ページ）を有効にしている場合は、機材との通信が完了すると、[配信開始] をクリックしなくても映像の表示を開始します。
- 動画再生用のアプリケーションによっては、動画部分が再生されないことがあります。
- 画面共有の開始前に、あらかじめ機材の電源をオンにして、入力を「Screen Transfer」に切り換えておく必要があります。
- [配信開始] をクリックしてから映像が表示されるまでの時間を設定することができます。
↳「詳細設定を行う」（35 ページ）

音量を調節する

- ランチャーの  を調整する
出力される音量を調整することができます。



音量を調整するアイコンが表示されない場合

ランチャーの左上をクリックしてシステムメニューを表示させ、[設定] → 「画面共有時に映像と一緒に音声も出力する」にチェックを入れてください。

↳「詳細設定を行う」（35 ページ）

お知らせ

- グループと機材を登録している場合は、グループに登録されたすべての機材から音声出力されます。その場合、音量はそれぞれの機材により異なります。複数の機材の音量設定を一括して変更することもできます。
↳「詳細設定を行う」（35 ページ）
- 音声は本ソフトウェアの起動中に映像を表示したときのみ、機材から出力されます。

音声の入力元を変更する

- ランチャーの音声の入力元指定欄をクリックして、入力元を変更する
機材に出力する音声の入力元を変更することができます。



下記を音声の入力元として指定できます。表示される入力元の名称は、ご使用のコンピュータによって異なります。

- コンピュータから出力される音声（「Speakers/Headphones」など）
- マイクから入力される音声（「マイク配列」など）

お知らせ

- 本ソフトウェアを終了した時の状態は次回起動時に引き継がれます。

機材の配信状態を確認する

- ランチャーの [配信状態] をクリックして＜機材の配信状態＞画面を表示する







配信対象となる機材の状態、機材名、グループ名、IP アドレス、モデル名が表示されます。

機材の配信状態				
	FP01	/1F/Room101/	192.168.0.101	model1
	FP02	/1F/Room101/	192.168.0.102	model2
	FP03	/2F/	192.168.0.103	model3
	FP04	/3F/	192.168.0.104	model4

ランチャーを操作する

機材の状態は、以下のアイコンで表示されます。

	正常配信中	正常に配信されています。
	配信リトライ中	画面共有に失敗したため、配信をリトライしています。
	配信停止中	配信を停止しています。
	配信不可	通信不能のため、配信ができません。

お知らせ

- 各機材をクリックすると、配信状態がメッセージで表示されます。
- 配信リトライ中の状態が続く場合は、機材の入力が「Screen Transfer」に設定されているか確認してください。
- 配信不可の場合は、機材の通信環境や電源の状態を確認してください。

ソフトウェアを終了する

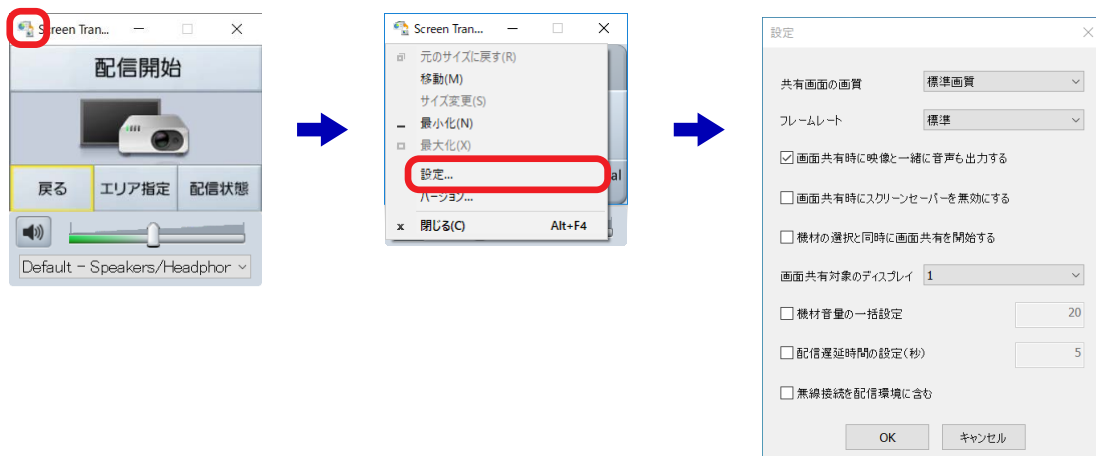
- ランチャーの  をクリックする



詳細設定を行う

映像の画質、音声出力の有無などの詳細設定は＜設定＞画面で行うことができます。

＜設定＞画面を表示するには、ランチャーの左上をクリックし、システムメニューから[設定]を選びます。



＜設定＞画面

「共有画面の画質」

表示画質を設定します。

「高画質」：静止画などの表示に適しています。

「標準画質」：動画などの表示に適しています（初期設定）。

「低画質」：通信量を抑えることができるため、複数台の機材への表示に適しています。

「配信優先」：無線環境が良くない場合に使用します。

「フレームレート」

共有画面のフレームレートを調整するときに使用します。

「高速」：高めのフレームレート。

「標準」：通常のフレームレート（初期設定）。

「低速」：低めのフレームレート。スループットを下げたい場合に使用します。

「画面共有時に映像と一緒に音声も出力する」

チェックを入れた場合、音声を接続している機材から出力します（初期設定：チェックあり）。

音声を出力しない場合は、チェックを外します。

「画面共有時にスクリーンセーバーを無効にする」

チェックを入れた場合、映像の表示中にコンピュータのスクリーンセーバー機能を無効にします（初期設定：チェックなし）。

- スクリーンセーバーが開始されると本ソフトウェアは自動的に画面共有を停止します。画面共有を停止したくない場合は、この設定にチェックを入れてください。
- パスワード付きのスクリーンセーバーの設定も無効になりますので、席を離れる場合には注意してください。

「機材の選択と同時に画面共有を開始する」

チェックを入れた場合、＜検索＞画面または機材の選択画面から機材を選択すると、自動的に映像の表示が始まります（初期設定：チェックなし）。

ランチャーの[配信開始]をクリックする必要はありません。

「画面共有対象のディスプレイ」

マルチディスプレイ環境でコンピュータを使用しているとき、機材に表示するディスプレイを選びます。

「機材音量の一括設定」

グループと機材を登録して使用している場合、複数の機材の音量設定を一括して変更することができます（初期設定：チェックなし）。

- 1 ～ 100 の範囲で設定できます。
- 設定変更後、ランチャーの [配信開始] をクリックしてください。
- IP アドレスを指定して機材に接続している場合、本機能は実行されません。

「配信遅延時間の設定（秒）」

[配信開始] をクリックしてから映像が表示されるまでの時間を設定することができます（初期設定：チェックなし）。

- 0 ～ 10 秒の範囲で設定できます。
- 登録したグループと機材を選ぶ場合、[優先配信] を選択すると本機能は実行されません。

「無線接続を配信環境に含む」

チェックを入れた場合、無線用の伝送方式で配信します（初期設定：チェックなし）。ネットワーク内に無線経路がある場合にチェックを入れます。

エリアを指定して表示する

コンピュータの画面のうち、必要な範囲だけを指定し、機材に表示することができます。

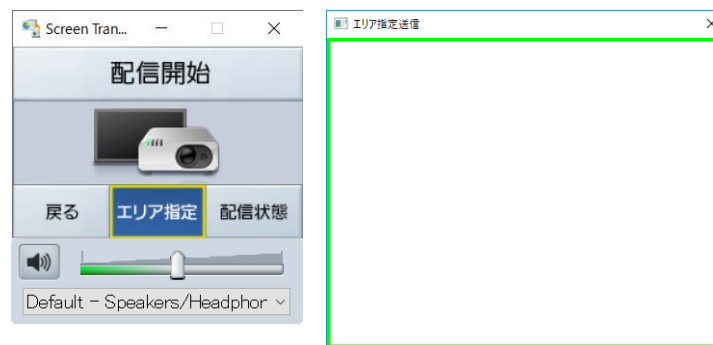
1 ランチャーの[エリア指定]をクリックする

＜エリア指定送信＞ウィンドウ（範囲選択画面）が表示されます。



2 ＜エリア指定送信＞ウィンドウで送信したい部分を指定する

＜エリア指定送信＞ウィンドウは、通常のウィンドウ操作でサイズや位置を調節できます。



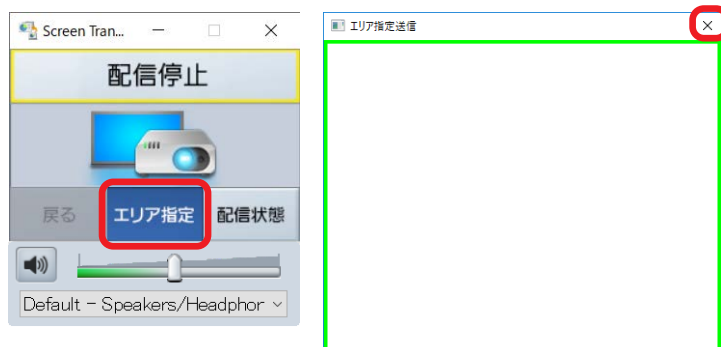
3 ランチャーの[配信開始]をクリックする

＜エリア指定送信＞ウィンドウ内の映像が機材に表示されます。



エリア指定送信を終了する

- <エリア指定送信>ウィンドウ右上の × をクリックする、またはランチャーの[エリア指定]をクリックする




お知らせ

- <エリア指定送信>ウィンドウの枠内をマウスで操作することはできません。ランチャーを<エリア指定送信>ウィンドウの枠内に入れないように注意してください。
- ランチャーが<エリア指定送信>ウィンドウの枠内に入ってしまった場合は、<エリア指定送信>ウィンドウを閉じ、ランチャーを枠外のエリアに移動させてください。再度<エリア指定送信>ウィンドウを開くと、前回と同じ大きさ、位置で画面が表示されます。
- 本機能は、<設定>画面の「画面共有対象のディスプレイ」で 1 を選んでいるときのみ使用することができます。

配信中の映像を確認する

映像の配信先をレシーバーに設定することで、機材に表示させている映像をコンピュータ上で確認することができます。

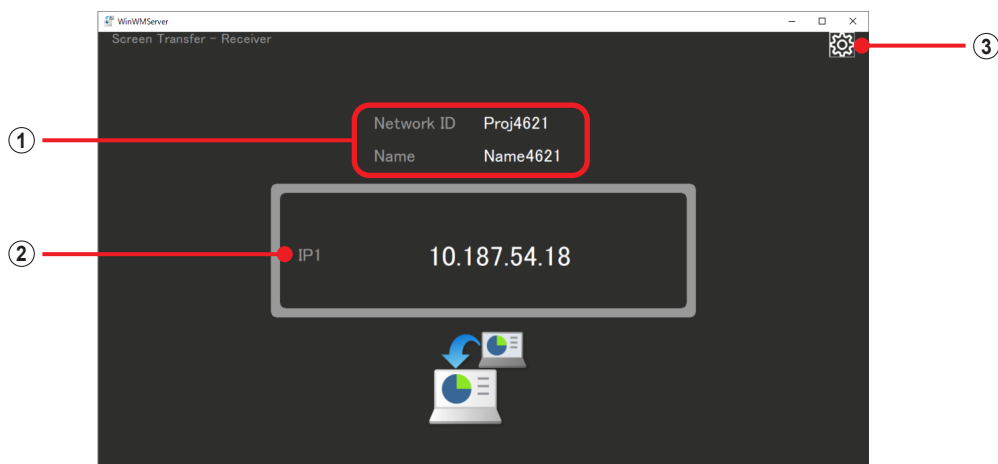
レシーバーを起動するには、デスクトップの  をダブルクリックするか、グループ/機材の選択画面または<検索>画面の[レシーバー起動]をクリックします。

お知らせ

- 無線 LAN を使用している場合は、レシーバーで映像を正常に受信できません。レシーバーを使用する場合は、有線 LAN でコンピュータを接続してください。



レシーバー



- ①レシーバーの機材名を表示します。
本ソフトウェアで機材の検索時に表示される機材名です。
- ②レシーバーを起動しているコンピュータのIPアドレスを表示します。
本ソフトウェアで検索時に使用するIPアドレスです。
最大4台まで表示することができます。

- ③<設定>画面を表示します。
レシーバーを登録するのに必要な情報を設定することができます。

40 ページ

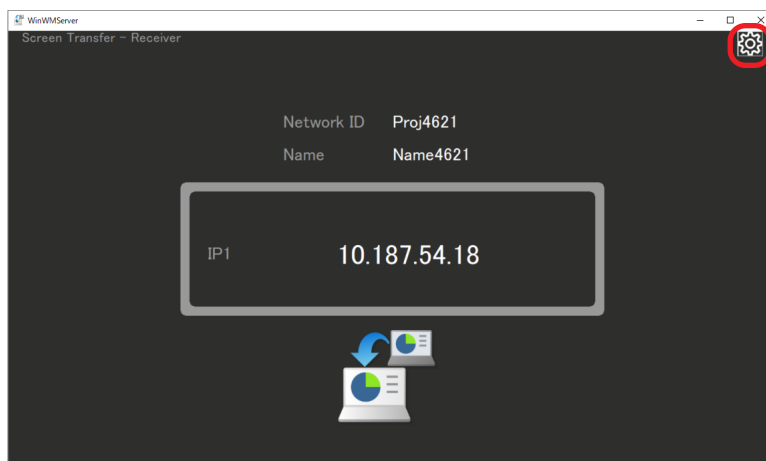
お知らせ

- キーボードの「F11」キーで、画面を全画面表示に切り換えることができます。
- ご使用のコンピュータのスペックによっては、表示される映像が乱れたり、音声が途切れたりノイズが入る場合があります。

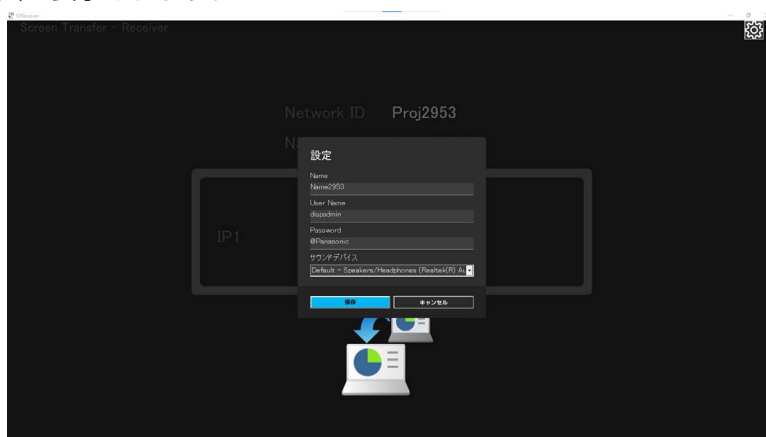
レシーバーを登録する

レシーバーを機材と同じように登録することができます。

1 レシーバーの をクリックして<設定>画面を表示する



レシーバーの設定画面が表示されます。




2 レシーバーの情報を設定する

- Name : レシーバーの機材名を設定します。
User Name : レシーバーのユーザー名を設定します。
Password : レシーバーのパスワードを設定します。
サウンドデバイス : レシーバーの音声デバイスを設定します。

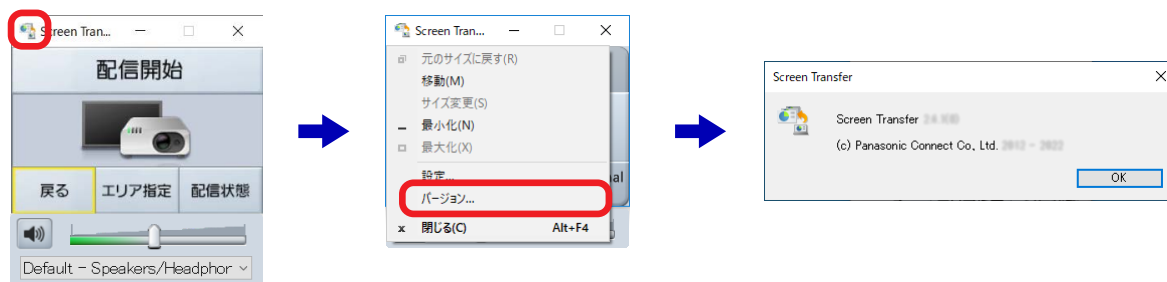
3 [保存] をクリックする

4 レシーバーを登録する

手順2で設定した内容を使って、レシーバーを機材として登録します。
登録は、<グループ/機材編集>画面、または機材管理データファイルで行います。
 「グループと機材を登録する」(19 ページ)

バージョン情報

本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。ランチャーの左上をクリックしてシステムメニューを表示させ、「バージョン...」を選びます。



表示されるメッセージ

本ソフトウェアの使用中にエラーが発生したときは、メッセージが表示されます。

メッセージ	内容
Screen Transferの起動に失敗しました。	本ソフトウェアが起動できません。ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性があります。ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。 ☞「ソフトウェアをアンインストールする」(10 ページ) ☞「ソフトウェアをインストールする」(10 ページ)
Screen Transferが既に起動しています。	本ソフトウェアを2重に起動しようとしています。
既にこのIPアドレスは登録されています。	追加されたIPアドレスが既に登録されています。
登録できるIPアドレスは64までです。	既に上限である64台の機材のIPアドレスが登録されています。
全ての機材の接続に失敗しました。	登録しているすべての機材の接続に失敗しました。登録している機材に電源が入っており、入力が「Screen Transfer」になっているか確認してください。また、登録している機材と通信ができていないか確認してください。 ☞「機材を確認する」(11 ページ)
下記の機材の接続に失敗しました。続行しますかよろしいですか？	登録している一部の機材の接続に失敗しました。登録している機材に電源が入っており、入力が「Screen Transfer」になっているか確認してください。また、登録している機材と通信ができていないか確認してください。 ☞「機材を確認する」(11 ページ)
IPアドレスが重複しています。	画面共有を実行した際、複数の機材のIPアドレスが重複しています。
一部の機材で配信開始に失敗しました。配信状態を確認してください。	ランチャーの[配信開始]ボタンクリック時、一部の機材の配信開始に失敗しました。ランチャーの[配信状態]ボタンをクリックして、機材の配信状態を確認してください。 ☞「機材の配信状態を確認する」(33 ページ)
一部の機材が「配信停止」、「配信リトライ」または「配信不可」に変わりました。配信状態を確認してください。	一部の機材が配信を受け付けない状態になっています。ランチャーの[配信状態]ボタンをクリックし、機材の配信状態を確認してください。 ☞「機材の配信状態を確認する」(33 ページ)
機材との通信に失敗しました。	機材とコンピューターの間で、一定時間通信(接続リトライ)に失敗しました。機材と通信ができていないか確認してください。 ☞「機材を確認する」(11 ページ)
不正なdatファイルです。	datファイルからの登録に失敗しました。CSVファイルの記載内容が正しいか確認し、再度datファイルを生成してください。
STReceiverが既に起動しています。	レシーバー「STReceiver」を2重に起動しようとしています。
DeviceList.dat生成に失敗しました。お使いのPC環境を確認してください。	DeviceList.dat生成に失敗しました。PCのリソース(メモリやCPU)の使用状況を確認してください。リソースに問題がなければ本ソフトウェアを再起動してください。
IPアドレス入力欄の値を適切な値にしてください。	IPアドレス欄に不正な値が入力されています。正しいIPアドレスを入力してください。

困ったとき

機材とコンピューターがLAN接続できないとき

● ネットワークの設定は正しいですか。

機材のネットワーク設定とコンピューターのネットワーク設定が正しいか確認してください。
コンピューターと機材が同一のネットワーク内にない場合、配信は行われません。

● 機材の電源を入れた直後、および入力切り換え直後は接続に失敗する場合があります。

しばらく（1分以上）待ってから接続してください。

● ネットワークブリッジが設定されていませんか。

ネットワークブリッジが設定されていると接続できないことがあります。ネットワークブリッジが不要な場合は削除してください。

詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

<ネットワークブリッジの有無の確認方法>

- 1 [スタート] をクリック、またはWindowsキーを押してスタートメニューを表示させる
- 2 [設定] をクリックして<Windowsの設定>画面を表示させる
- 3 [ネットワークとインターネット] → [イーサネット]（無線LANを使用する場合は、[Wi-Fi]）→ 関連設定の[アダプターのオプションを変更する]を選択して<ネットワーク接続>画面を表示する
<ネットワーク接続>画面に[ネットワークブリッジ]が表示されている場合、ネットワークブリッジが設定されています。

<ネットワークブリッジの削除方法>

- 1 <ネットワーク接続>画面の[ネットワークブリッジ]を右クリックし、[削除]を選択する
- 2 [接続の削除の確認] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックする
- 3 [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行]をクリックする

● Windows ファイアウォールに本ソフトウェアが登録されていますか。

<Windows ファイアウォールへの登録>

以下の手順で[ファイアウォールによるアプリケーションの許可]に本ソフトウェアを登録してください。

- 1 [スタート] をクリック、またはWindowsキーを押してスタートメニューを表示させる
- 2 [設定] をクリックして<Windowsの設定>画面を表示させる
- 3 [更新とセキュリティ] → [Windows セキュリティ] → 保護の領域の[ファイアウォールとネットワーク保護]を選択して<ファイアウォールとネットワーク保護>画面を表示する
- 4 [ファイアウォールによるアプリケーションの許可]をクリックする
- 5 [設定の変更] をクリックし、登録許可モードに変更する
- 6 [別のアプリの許可] をクリックし、<アプリの追加>画面が表示されたら、[参照] をクリックする
- 7 本ソフトウェアをインストールしたフォルダの「Screen Transfer.exe」を選択し、[開く] をクリックする
フォルダを指定していない場合のインストール先：
C:\Program Files (x86)\Panasonic\ScreenTransfer
- 8 <アプリの追加>画面の[アプリ]リストに、本ソフトウェアが表示されていることを確認して、[追加] をクリックする
- 9 [許可されたアプリおよび機能] リストに本ソフトウェアが追加されていることを確認する
- 10 プライベートおよびパブリックにチェックが入っていることを確認する
- 11 <許可されたアプリ>画面の[OK] をクリックする

本ソフトウェアがWindows ファイアウォールの例外アプリケーションリストに登録されます

● ファイアウォール機能を備えたアプリケーションがインストールされていませんか。

ファイアウォール機能を備えたアプリケーションがインストールされていると、機材と通信できない場合があります（起動していなくても、インストールされているだけでファイアウォール機能が動作する場合があります）。

この場合、接続を行うためには、ファイアウォールの設定変更を行う必要があります。

ファイアウォールの設定方法については、各アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

「LANアダプターが見つかりません。」のエラーが表示されたとき

● LANアダプターは正しく認識されていますか。

ご使用のLANアダプターが正しく認識されていない場合があります。

コンピューターを操作して、LANアダプターが[デバイスマネージャー]で正しく認識されているか確認してください。

[デバイスマネージャー]の[ネットワークアダプター]の欄に[?]マークが表示されている場合は、インストールが正常に終了していないことが考えられます。

ご使用のコンピューターまたはLANアダプターの取扱説明書に従って、再度ドライバーをインストールすることをお勧めします。

<[デバイスマネージャー]の表示方法>

- 1 [スタート]を右クリックする
- 2 メニューから[デバイスマネージャー]を選択する

● LANアダプターのドライバーのアップデートを行うことで動作するようになる場合があります。

ドライバーのアップデートに関しては、ご使用のコンピューターまたはLANアダプターのメーカーにお問い合わせください。

LANの接続が切れてしまう

映像の表示が中断された場合や通信が切断された場合は、本ソフトウェアから再度機材を選択してください。それでも機材と通信できない場合は、機材の電源を切り、しばらく待ってから主電源スイッチを切ります。主電源のスイッチがない場合は、電源プラグを抜いてください。

再度機材の電源を入れてから、もう一度本ソフトウェアから機材を選択してください。

機材の入力信号に「Screen Transfer」がない

- 「Screen Transfer 機能」に対応している機材ですか（4 ページ）。
- 対応する機材の「Screen Transfer 機能」が有効になっていますか。詳しくはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

画像の表示や動画の再生が遅い、スムーズでない

- コンピューターのディスプレイが4K解像度対応の場合は、解像度を2048ドット×1536ドット以下に変更してからご使用ください。
- ノートパソコンをご使用の場合は、必ずACアダプターを接続してください（7 ページ）。
- コンピューターのCPU速度が遅くありませんか（8 ページ）。
画像の表示や動画の再生は、コンピューターのCPU性能に大きく依存します。
- ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [共有画面の画質]で「高画質」を選択している場合は、画面表示が遅くなることがあります（35 ページ）。
- ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [フレームレート]で「高速」を選択している場合は、画面表示が遅くなることがあります（35 ページ）。
- 他のアプリケーションを同時に起動している場合、遅くなることがあります。
- 動画を再生する場合、表示が遅くなることがあります。

コンピューター操作と実際の表示映像にタイムラグがある

- 本ソフトウェアはコンピューターの画面を取り込んで圧縮してから機材に送信します。また、機材側では受信したデータを解凍してから映像を表示します。
この処理時間とLANの環境によって遅延時間が発生します。ご使用のコンピューターの性能によっても遅延時間に差がでます。

映像が表示されない
<ul style="list-style-type: none">● 必要なシステム構成で使用していますか（8 ページ）。● ご使用のコンピューターのビデオドライバー（グラフィックスドライバー）をアップデートすると、動作する場合があります。ビデオドライバーのアップデート方法については、コンピューターのメーカーまたはインテル社にお問い合わせください。
映像の表示中に機材から音声がでない
<ul style="list-style-type: none">● 本ソフトウェアの起動後に出力デバイスを切り換えた場合、音量は正しく変更できません。本ソフトウェアをいったん終了し、起動し直してください。● ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [画面共有時に映像と一緒に音声も出力する] にチェックが入っているかを確認してください（35 ページ）。● 上記の操作を行っても症状が改善されない場合は、本ソフトウェアをいったん終了し、起動し直してください。
本ソフトウェアの色表示が正しくなく、文字が読みづらい
<ul style="list-style-type: none">● ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [共有画面の画質] を表示し、「高画質」を選択してください（35 ページ）。
映像を表示中、スクリーンセーバーが表示されない
<ul style="list-style-type: none">● ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [画面共有時にスクリーンセーバーを無効にする] のチェックを外すとスクリーンセーバーが有効になります。ただし、スクリーンセーバーが開始されると本ソフトウェアは自動的に画面共有を停止します（35 ページ）。

商標について

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテルは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

ご注意

- 本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本ソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル



0120-872-002

※携帯電話からでもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

URL https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号